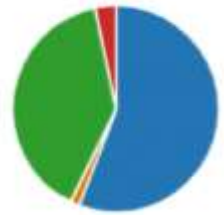


## 京丹後市中学校部活動に関するアンケート結果(中学校保護者):211 人回答

- 1 京丹後市の中学校では、全員が部活動に参加することとしている。もし、全員加入でなくなった場合、加入させるか



### 2 「加入させたくない」の理由(複数回答可)

- ・部活動の時間を勉強にあてさせたい 1
- ・部活動の時間を他の習い事にあてさせたい 2
- ・部活動の時間を可読との時間にあてたい 1
- ・必要性を感じない 2

### 3 休日の部活動を地域が担うこと(理由と傾向)

#### ① 教員の負担軽減

多くの回答者が、教員の負担軽減を理由に部活動を地域に移行させたいと考えている。

#### ② 専門的な指導

地域の専門家や経験者が指導することで、より質の高い指導が受けられると期待している回答もある。

#### ③ 子どもの意向を尊重

一部では、子ども自身の意向や能力に応じて部活動の参加を決めるべきだとする意見もある。特に休日の負担については、子どもが自分の興味や時間を尊重されるべきだという考えが見受けられる。

#### ④ 地域との結びつき

地域での活動は、地域社会との結びつきを強化し、子どもたちにとって広い視野を提供するという観点から支持されている。

## ⑤ 指導者の資質と信頼

外部の指導者に対しては、その資質や信頼性について不安を持つ意見もある。学校の先生が担当することで、子どもたちとの信頼関係が築かれやすいと考える声もある。

## 2 京丹後市で部活動を地域に移行する場合、どのような形が良い(持続可能)と考えるか

### ① 指導方法の統一と透明性の確保:

地域移行後も、学校と地域での指導方法の違いが少ないことが望まれている。指導者の経験やスタイルの差異が生じることが問題視されている。

### ② 指導者の経験と資格の重視:

指導者がその活動に適切な経験や資格を持っていることが重要視されている。特に、個々の生徒を理解し、公平に指導できることが求められている。

### ③ 費用負担と報酬の問題:

地域移行に伴う費用負担があっても受け入れ可能とする意見があるが、指導者に対しては適正な報酬が支払われるべきだとの声が多くある。ボランティアよりも報酬を支払うべきとの意見も見られる。

### ④ 生徒の意欲と参加の選択肢:

生徒が自らの意思で参加できる形態を望む声がある。特定の部活動に参加しづらい生徒や、部活動の選択肢が少ない現状を改善する必要があるとの意見がある。

### ⑤ 連携と安全性の確保:

学校と地域指導者の連携が必要であり、生徒と保護者が安心して活動できる環境づくりが求められている。指導内容や方針についての情報共有が不可欠とされている。